

尾道市合併20周年記念 圓鰐勝三彫刻美術館 夏季展

持ち物から読み解く 圓鰐彫刻



「古の話」1955年

2025

6.10 tue - 9.7 sun

開館時間: 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料: 大人420円(340円) 高校生310円(250円) ※ ()内は20名以上の団体料金

中学生以下・70歳以上(要年齢確認), 各種手帳をお持ちの方(スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用可能)は無料

*身体障害者手帳…所持本人(1級~4級の場合は付添人1人) *療育手帳…所持本人、および付添人1人 *精神障害者保健福祉手帳…所持本人、および付添人1人

持ち物から読み解く 圓鰐彫刻

圓鰐勝三は明治 38（1905）年に尾道市御調町に生まれ、16 歳で彫刻家を志します。日展をはじめとする公募展で活躍し、多摩美術大学で教鞭をとるなど近代彫刻界に影響を与えた彫刻家の一人となりました。昭和 63（1988）年にはその功績が認められ、文化勲章を受章します。

写実的なものから、抽象的な作品まで、その作風は多岐にわたり、広島平和公園に設置されている「平和祈念像」をはじめとする野外彫刻は人々に愛され続けています。

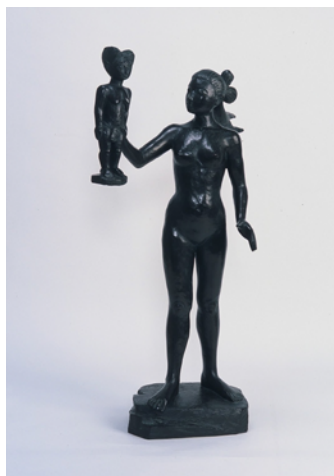
圓鰐の彫刻作品ではお面や経典、動物などなにかを持っている彫刻作品が数多く存在します。「制作過程でも手に自然にものを持たせるといのはなかなかいい勉強になる。」と語っていることから、単体のモチーフを制作するよりも何かを持たせることで自身の表現やテクニックの向上を目指したことがうかがえますが、持っているモチーフに注目するとその制作の意図や時代背景が見えてきます。何故そのモチーフを持たせた作品を制作したのか、その作品が制作された時に圓鰐はどんな時代を生きていたのかをご紹介します。



「月の光」1977 年



「二つの面」1980 年



「コレクションと…」1994 年



「発掘」1972 年

交通アクセス



【交通機関】

【JR・バス利用】

JR 尾道駅、JR 新尾道駅から、
中国バス「甲山」「御調高校前」行きに乗車、
「道の駅クロスロードみつぎ」下車タクシーで約 10 分

【車利用】

東、北からは尾道自動車道・尾道北 IC 経由、西からは
山陽自動車道・三原久井 IC 経由国道 486 号線で御調町へ、
国道 184 号線府中分かれ交差点を左折して約 5 分

美術館 HP や公式 SNS でワークショップや
イベント情報などをお知らせしています。

美術館 HP



X (旧 Twitter)



Facebook



圓鰐勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM

〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾 220 番地

TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071